

## ～ 京都三条会商店街

「さあ！朝から夜まで楽しんで頂きましょう！」～

子供が喜ぶ景品を中心とした抽選会と、アーケードの利点を活かした「朝から夜まで楽しんで頂きましょう」イベントを実施。地域の人々への商店街活動のアピールやファミリー層の認知度を高めることにより、商店街の利用度向上を目指した。

所在地：京都府京都市中京区今新在家西町1-1  
TEL：075-811-4472 FAX：075-811-4479  
URL：<http://saniokai.kyoto.jp/>  
組合員数：174名  
商店街の類型：地域型商店街

## 商店街の概要と事業を実施した背景

西日本最大級の全長800mのアーケードを有する商店街で、店舗数は約180店。最寄品及び買回品の店舗が混在する地域型商店街である。買い物客のために午後2時から9時の間は車両を通行止めをしている。商店街内には祇園祭発祥の八坂神社又旅社があり、訪れる観光客も多い。一方で地域住民の高齢化等による客足の減少や店主の高齢化による空き店舗の増加が大きな課題となっている。

商店街ではこれまでも各種のイベントを行ってきたが一部の賑わいに留まっており、地域コミュニティ活動としての印象が薄かった。そこで今回、地域に密着した商店街を目指し、コミュニティ活動に取り組んでいることをアピールした。



## 実施した事業の概要

## ①子供抽選会の開催

子供向けの景品に特化し、新型ゲーム機や水族館の年間パスポート、図書券など子供たちがよろこぶ商品に絞った抽選会を実施。商店街で買い物をしてリボンスタンプを集めておくことで抽選に参加できるようにし、ニューファミリー層の日常的な来街と個店の販促、賑わいづくりを狙った。PR方法としては、夏休みの間にWebサイトやTwitterで参加を呼びかけた結果、1,200名の参加者があり、ニューファミリー層の商店街に対する認知度が高まった。

## ②朝から夜まで楽しんで頂きましょう！

創立50周年の感謝をこめて「朝から夜まで三条会」をキャッチフレーズに歩行者天国を延長し、朝8時から夜8時まで楽しめるイベントを実施した。

朝はモーニングサービス、昼は商店街内の公園に設けた商店街特設の屋台でランチ、アーケード内ではミニSL、JAZZコンサート、落語寄席、サンパレード、夜は店頭で営業している屋台で食べ歩きなど、全ての世代が一日中商店街で楽しんでもらえるイベントとした。当日は15,000名の来街者で賑わいをみせ、商店街はコミュニティ広場でもあることをPRした。

また、リボンスタンプでは通常1冊300円として使用できるが、当日は400～1000円で使用できることとし販促につなげた。



## 成果と成功の要因



青年部・女性会は日頃より連携を図りつつ事業の企画運営を行っている。子供抽選会も若手の意見がきっかけで開催となった。ニューファミリー層をはじめ、お孫さんのいる世代にも反響が大きかったことから、その後継続的に実施しており、多くの集客を得ている。また、イベントを丸一日にわたって楽しんでもらったことが功を奏し、これまで来街されなかった新しい顧客の取り込みができた。結果として3つの空き店舗の減少に貢献できたと考えている。新規出店者には古い京町家を活かしたレストラン等、いままでにない店舗を運営する若い店主も多くなり、訪れる若者が増えている。

さらに、商店街事業の基幹となっている「リボンスタンプ」を活用して個店の売上につながるイベントを実施したことで、商店街の一体感と組織強化につながった。

## 今後の取り組み

「リボンスタンプ」を活用したイベントや、地元大学生と連携した親子で楽しめる子育て広場等独自のイベントを実施することにより大型店との差別化を図る。これによって既存客の囲い込みとニューファミリー層の取り込みを進め、恒常的な賑わいを作り出していく予定である。

また、Webサイトを充実させ、地域内外へ向けて情報発信力を高めるとともに、集客と固定客化を図っていく。バナー広告の募集により企業からの協賛を得るなど新たな資金源の確保も視野に入れている。